



狛江市社会福祉協議会は、地域福祉の推進を図ることを目的とする社会福祉法人で、子どもから高齢者、障がいのある人も誰もが安心して暮らせる「福祉のまち」を実現するために、住民の皆様とともに様々な事業を行っています。

## コミュニティソーシャルワーカー

コミュニティソーシャルワーカー(CSW)は、現在の福祉制度では解決できない課題を抱える方の支援や地域の皆様の支えあいの支援を行っています。

- ・個別支援  
生活に関する困りごと、ひきこもりや不登校の相談対応など
- ・地域支援  
地域の中の居場所づくり、地域課題を解決するための仕組みづくりなど



## 小地域活動

市内各所で地域住民が実施するささえあい活動への支援を行っています。



## 通所施設の運営

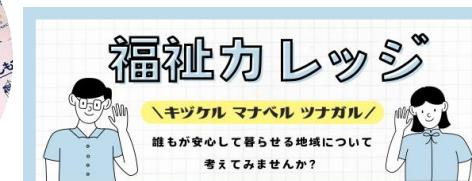
あいとぴあ子ども発達教室 “ぱる”

## 狛江市社会福祉協議会マスコットキャラクター



困ったときにそばにいるこまちやんです。

こまちやん



## 防災ボランティアセンター

災害時には災害ボランティアセンターを設置し、被災された方の支援を行います。

## 福祉教育

- ・福祉力レッジの開催
- ・ふくしえほん「あいとぴあ」の配付
- ・保育園や幼稚園、学校等での福祉体験プログラムの実施



## 相談業務

## ご高齢の方に関する相談

## あいとぴあ地域包括支援センター あいとぴあ居宅介護支援事業所

## 障がいのある方に関する相談

地域自立生活支援センターサポート  
就労支援センターサポート  
特定相談支援事業所サポート  
一般相談支援事業所サポート

### 学費や一時的な資金の貸付に関する相談

## 生活福祉資金等の貸付 受験生チャレンジ



# 会員事業

つつじ会員 1,000円  
いちょう会員 10,000円  
さくら会員 30,000円

## 福祉サービスの提供

## 判断能力が十分でない、不安がある方への支援 あんしん泊江



## 住民による有償家事援助

## 笑顔サービス ホームヘルプサービス

### 手話通訳者・要約筆記者の派遣

## ハンディキャブの運行

## 車いす・介護用品の貸出



# 協贊店

地域の企業・商店等と当会が連携し  
「泊江の福祉のまちづくりの推進」  
のための会員制度の普及・啓発を  
目的として実施している事業





## 交流拠点

多世代多機能型交流拠点「ふらっとなんぶ」



認知症カフェ「こまカフェ」



食を通じた多世代交流拠点「こまばく」



## おたのしみスローショッピング

令和7年度から、お一人で買い物をすることに不安がある等のご高齢の方を対象に、買い物を楽しんでいただくとともに、外出することでフレイル予防につなげる取組み「おたのしみスローショッピング」を開始しています。

この事業は、市民の皆様からのご寄附を原資として活用させていただき、地域の事業者であるイトーヨーカドー国領店様のご協力を得て、当会の住民同士のささえあい事業「笑顔サービス」の協力会員と一緒に実施しています。

## 市民活動支援センター

「幸せだと笑顔になり、えくぼが生まれる。幸福感を持てるセンター」として、市民を始め、地域を支える全ての個人や団体、事業者、行政がお互いに連携、協働するまちづくりを行っています。

